

**「コンパクトシティ 蕨」 将来ビジョン推進プランⅢ（案）
に対するパブリック・コメント概要**

1. 案 件

「コンパクトシティ 蕨」 将来ビジョン推進プランⅢ（案）

2. 募集期間

令和 7 年 2 月 7 日（金）～ 2 月 2 7 日（木）

3. 意見の件数（意見提出者数）

2 件（2 人）

4. 意見等の概要

No.	意見の概要	市の考え方
1	市の行政サービスについて以下のデジタル化の取組を推進していただきたい。 ・市役所にある自動販売機や窓口等での支払いや、市税等の納付におけるキャッシュレス決済（クレジットカードやスマートフォンでの支払い）の導入 ・窓口等での本人確認における顔認証サービスの導入 ・道路や公園、子どもたちが良く遊ぶ場所、通学路等への防犯カメラの設置	デジタル化社会が進展するなか、市では、デジタル技術を活用した市民の利便性向上や業務効率化など自治体 D X を推進しています。 この間、市役所窓口の利便性向上に向けては、市民課や税務課窓口での証明書手数料等の支払いに係るキャッシュレス決済を導入しており、市税等の納付においては、一部の税目等ではキャッシュレス決済が可能となっているほか、コンビニでの証明書等の発行やスマート窓口（書かない窓口）の運用開始など、さまざまな取組を進めており、今後もサービスの拡充を検討してまいります。 また、今年度には、既に市内に 140 台ある街なか防犯カメラを新たに 60 台増設するなど、安全・安心なまちづくりにもデジタル技術の活用を進めています。 本プランにおいても推進項目に「自治体 D X 推進事業」を掲げ、デジタル化の取組を加速化することとしております。なお、顔認証サービスの導入等については、ご意見として参考にさせていただきます。
2	蕨市は少子高齢化が進み、特に後期高齢化率は約 13% になっている。75 歳以上のいわゆる団塊世代は、高度な技能等を有している方も多く、こうした経験を地域で生かすことができれば、更に協働を推進することができると思う。人材の活用に向けて、SDGs と絡めるなどして関心のある分野を調査してはどうか。	少子高齢化が本格化するなか、地域活動の担い手の確保等は課題であり、団塊世代をはじめ幅広い世代の皆さんの知識等を地域づくりに発揮していただくことは非常に重要であることから、市では、市民活動の拠点である「わらびネットワークステーション」において、アクティブシニアの社会参加事業や個人の資格・技能等を地域で生かせる仕組みづくりに取り組んできたほか、本プランにおいても、実施項目に「幅広い世代の市民参画の促進」、「地域力を活かした住み良いまちへの取組支援」などを掲げ、協働の更なる推進を目指すこととしております。 また、こうした取組の参考とするため、毎年

		実施している市民意識調査（無作為抽出）では、「今後したいと思う地域活動の種類」についてお伺いし、結果の分析等も行っているところですが、SDGs と関連した調査も含め、より良い手法については、引き続き検討していきたいと考えております。
--	--	---